

令和4年度 事業報告

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、本会事業の規模の縮小や事業の在り方、実施方法等の検討を繰り返し、可能な限り新型コロナウイルス感染症流行以前のサービス提供に近づけるよう努めました。

長引く新型コロナウイルスの影響で、人とのつながりの喪失や閉じこもりがちなによる筋力の低下、認知症の発症や悪化など、自粛生活によってもたらされた人々の価値観の変化やコミュニケーション不足による影響はより大きなものとなっています。このような中、「つながりの維持」を目指し、介護者のつどいやボランティアセンター事業など、感染防止策を徹底させた上で参集型の事業を取り入れてきました。

また、4年ぶりに社会福祉大会をきらりホールにて開催し、日々福祉活動に貢献されている皆さまに敬意と感謝の意を表しました。記念講演では、日本エンディングサポート協会の佐々木理事長より、「人生のしまい方～やさしい終活～」のご講演をいただき、244名の方に足を運んでいただきました。

生活困窮者への支援としては、千葉県社会福祉協議会からの受託事業で、新型コロナウイルス感染症を原因とする減収や失業等への支援である、生活福祉資金（通称「コロナ特例貸付」）の申請及び相談も継続して取り組みました。また、令和5年1月からは本制度の償還が開始したため、償還に関する相談も対応してきました。

さらに、成年後見・遺言個別相談会では、司法書士による出張相談として、市内の公民館等計7か所で計8回開催し、26件の相談に応じることができました。

なお、令和4年度に実施した事業の詳細につきましては、下記のとおりです。

1 法人運営

(1) 会務運営

◎理事会

第1回 令和4年5月31日（火）

- ・補正予算（第2回）について
- ・令和3年度事業報告について
- ・令和3年度決算について
- ・評議員候補者の推薦について
- ・令和4年度定時評議員会開催について

第2回 令和4年12月23日（金）

- ・社会福祉大会について
- ・職員給与規程の一部改正について

第3回 令和5年3月15日（水）

- ・役員賠償等責任保険の加入について
- ・令和5年度事業計画案について
- ・令和5年度予算案について
- ・令和4年度第2回評議員会開催について

◎評議員会

第1回 令和4年6月22日（水） 定時評議員会

- ・補正予算（第2回）について
- ・令和3年度事業報告について
- ・令和3年度決算について

第2回 令和5年3月27日（月）

- ・令和5年度事業計画案について
- ・令和5年度予算案について

◎内部監査 令和4年5月20日（金）

- ・令和3年度事業報告
- ・令和3年度会計決算

◎外部監査（鎌ヶ谷市）

①令和4年度社会福祉法人指導監査 令和4年10月24日（月）

- ・社会福祉法人指導監査
- ・会計管理に関する指導監査

②財政援助団体等監査 令和4年12月22日（木）

- ・補助金に係る出納その他の事務の執行状況（令和3年度会計）

(2) 社協会費の納入状況

①一般会費 8,311,080円(37自治会及び個人1名)

②法人会費 549,000円(76件)

③施設・団体会費 283,500円(46件)

合 計 9,143,580円

○自治会へ福祉事業費として、2,053,000円を支出し、地域活動の推進に寄与した。

(3) 啓発事業

- ・第23回鎌ヶ谷市社会福祉大会を開催した。(参加者244名) <重点目標>
- ・ホームページによる啓発として、ボランティアセンターや市社協及び地区社協の事業実施状況等、タイムリーな情報発信に努めた。
- ・広報紙「鎌ヶ谷社協だより」を年3回発行し、内1回は紙面数を増やすなど、社協事業の啓発に努めた。また、発行内容に応じ、自治会による全戸配布や新聞折り込み、市内8か所の駅への設置を行う等、効果的な情報提供に努めた。

(4) 市民・学校・福祉団体等への支援

- ・市内で火災が発生し、7件の見舞金計50,000円を交付した。
- ・民生委員児童委員協議会事務局として、会務の運営、専門部会活動への協力及び関係機関との連絡調整に努めた。また、千葉県民生委員児童委員協議会が主催する研修会等への参加を図るなど、民生委員児童委員の資質の向上に寄与した。
- ・遺族会の会務運営に協力した。
- ・民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会等、福祉関係団体に助成し、その活動を支援した。(計486,000円)
- ・市内全小学校及び中学校(計14校)に福祉活動助成金として助成し、福祉教育(校内環境美化、福祉募金活動等)の支援に努めた。(一校当たり50,000円)
- ・障害者週間に合わせて、アクロスモール、中央公民館、ショッピングプラザ鎌ヶ谷、市役所市民ホールに、市内11か所の就労継続支援B型事業所のパネル計13枚を展示し、各事業所の活動の啓発に寄与した。
- ・市内中学校の制服リユース事業を実施した。(提供者94名305点、利用者201名335点)

2 地域福祉事業

(1) 地区社会福祉協議会事業の活性化

地域福祉活動の中核的組織として、地域により近い6地区社協が窓口となり、「福祉サービス案内」＜重点目標＞の充実が図れるよう地区担当職員を配置するとともに、地域福祉事業に必要な知識の習得を図った。

◎各地区の情報共有のための連絡会議及び事務局会議等の開催

- ①地区社協連絡会議（年3回実施）
- ②地区社協連絡会研修会（9月14日実施）「各地区社協活動について情報交換」
- ③地区社協事務局会議（年7回実施）

◎その他資質向上のための研修会実施

- ①災害ボランティアセンター立ち上げ訓練（10月29日実施 参集型兼オンライン講義）

講義 「災害ボランティアセンターについて」

講師 平野 智士 氏（千葉県社会福祉協議会 千葉県ボランティア・市民活動センター）

- ②千葉県CSW育成研修地域福祉の担い手養成講座（10月14日実施 オンライン講義）

講義 「①地域の良いところ・困りごと ②私たちにできること ③社会資源の活用・創造」

講師 坪井 真 氏（作新学院大学女子短期大学部幼児教育科教授）

◎市社協との共催事業 成年後見・遺言個別相談会

将来に備え、成年後見制度の利用及び遺言や相続等について司法書士の協力を得て、市社協との共催にて相談会を開催した。（市内7か所・計26件）

<参考>

○中央地区社会福祉協議会

	事業名	内容
広報啓発	地区社協広報紙 福祉健康フェア	・「まごころ」（約5,800部）を年2回発行 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止

ふれあい交流	茶話会	・ 70歳以上の方を対象とした交流会 ラジオ体操、保健指導・きらり鎌ヶ谷体操、バギーゲーム、ダーツゲームなどのゲーム、認知症の話、「詐欺被害にあわないために」の講演、歌、手品、手話ダンス、三味線演奏などを鑑賞して交流会を行った。 (年6回延べ234名参加)
在宅福祉 在宅福祉	介護予防教室 お年寄りとの交流会	・ 地域の方を対象に行う健康長寿体操教室 インストラクター指導のもと、ストレッチ体操を行った。 (年3回延べ106名参加) ・ ひとり暮らしの高齢者を対象に、4つの地域で各援護グループに依頼し交流会を行う。 (各グループ年2回の内、4回実施延べ149名参加) 一部の交流会が、新型コロナウイルス感染症対策のため中止
ボランティア育成	ボランティア研修会 中央地区 ふれあいのつどい ボランティアバス研修 鎌ヶ谷中学校 JRC 委員会と地域の方との交流会	・ 運営委員やボランティアに興味のある方たちを対象とした研修会 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止 ・ 地区ふれあい員の研修会（自連協との共催） 「防災講座」を鎌ヶ谷災害ボランティアネットワークの方たちに依頼して行った。 (63名参加) ・ 運営委員や地域のボランティア対象のバス研修 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止 ・ 鎌中 JRC 委員会の生徒と地域の方たちが講習や体験などで交流を図る。 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止

実行委員会	ふれあいサロン	・地域の高齢者や小さな子ども連れの親子など、「誰でも気軽につどえる場所」を目指しサロンを第4木曜日に開催した。 - 小物づくりや折り紙、脳トレプリント・ぬり絵、川柳づくりを行った。 (年9回延べ238名参加)
-------	---------	--

◎見守りパトロール（通年、4委員会でも月に実施した。）

◎鎌ヶ谷中学校の行事招待状配布は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止（高齢者との交流を目的）

○中央東地区社会福祉協議会

	事業名	内 容
広報啓発	地区社協広報紙 福祉健康フェア ホームページ	・「おもいやり」（5,000部）を年2回発行 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止 ・ホームページに掲載し、地区社協事業等の啓発に努めた。
ふれあい交流	ひょうたん祭り 地区ふれあい祭り バス研修 防災備品点検 発電機点検	※新型コロナウイルス感染症対策のため公民館決定により中止 ・地域の方とのふれあいの場（クリスマス会） ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止 ・運営委員・地域ボランティアの研修 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止 ・防災備品の確認を行った。（28名参加） ・委員会等で動作確認を2回実施した。 (各10名参加)
在宅福祉	介護予防教室	・地域の方を対象に、ウォーキング講習会・健康体操・歯科・栄養・体力測定に講義を開催した。 (年6回延べ130名参加)

ボ ラ ン テ ィ ア 育 成	ボランティア支援活動	・地域の特別養護老人ホームにおいて、定期的にボランティア活動「シーツ交換」 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止
	青少年福祉活動①	・手すきはがき作り教室 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止
	青少年福祉活動②	・五中福祉委員が、ひとり暮らし高齢者への年賀状を出す事業を実施した。 ・初小・五小の生徒が公民館でのひとり暮らし高齢者への年賀状を出す事業を実施した。 (延べ37名参加)
ボ ラ ン テ ィ ア 育 成	五本松小ふれあい会	・2年生と高齢者との交流会（昔あそび） (22名参加) ・1年生と高齢者との交流会（昔あそび） (13名参加)
部 会 活 動	サロン事業（翔友会）	・地域の方が参加出来る交流の場 (年8回延べ138名参加) ※4月・7月・9月は新型コロナウイルス感染症対策のため中止
そ の 他	運営委員研修会	・運営委員、地区ふれあい員、民生委員児童委員、援護グループ、各自治会長を対象に「楽しく充実した老後を過ごすために」研修会を実施した。(58名参加)
	脳トレプリント	・脳トレプリントを地区社協掲示板・ラック・体操教室・東武鎌ヶ谷自治会館で配布

○東部地区社会福祉協議会

※令和3年12月1日～令和4年7月31日まで東部学習センター改修工事のため休館

	事業名	内 容
広 報 啓 発	地区社協広報紙	・「ふれあい第60号」(8,200部)を配布 ・「ふれあい第61号」(8,300部)を配布 ・子どもの見守り啓発チラシを年3回発行
地 域 交 流	東部ふれあいまつり	※新型コロナウイルス感染症対策のため中止。
	ふれあい福祉まつり	※新型コロナウイルス感染症対策のため中止。
地 域 交 流	移動児童館	・道野辺小、東部小の児童を対象(年3回)
	東部リフレッシュ	・未就園児の子育て中の母を対象の子育て支援事業 東部地区リフレッシュ事業 「ファーストコンサート」(18組参加)
	交流バスハイキング	・閉じこもりがちな高齢者を対象 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止。
健 康 福 祉	ミニリハビリ 「ほのぼの会」	・障がいのある方や高齢者を対象 (年5回延べ211名参加)
	ふれあいサロン 「すみれ」	・誰でも気軽に立ち寄れる交流の場 (年7回延べ255名参加)
育 成 研 修	地区ふれあい員研修	・地区ふれあい員へ地域見守りのための資料を配布した。
	福祉講座	・運営員研修会「ローカルダイアログ」 (41名参加)

育成 研修	青少年育成	・ 東部小、道野辺小学校児童を対象 「手作りおもちゃで遊ぼう」 冬のちょっとしたお楽しみ 輪なげ・魚釣り大会 (84名参加)
その他	東部地区懇談会	・ 東部地区学校関係者、幼稚園、保育園、健康増進課、民生委員児童委員主任児童委員、各自治会長、地区社協役員等対象 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止。

○西部地区社会福祉協議会

	事業名	内 容
広報 啓発	地区社協広報紙 福祉健康フェア	・ 「あけぼの59号」 (3,300部) を発行。 ・ 「あけぼの60号」 (3,300部) を発行。 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止
地域 交流	炊き出し訓練 昔遊びの会 サロン「梨の花」 子育て支援事業 LINE教室 脳トレプリント	※新型コロナウイルス感染症対策のため中止 〃 ・ 自治会館を利用してサロンを開催した。 くぬぎ山自治会館 (年6回延べ96名参加) 北初富第5自治会館 (年2回延べ20名参加) 木刈橋公民館 (年2回延べ37名参加) ・ リフレッシュ体操を開催した。 (7名参加) ・ 公式アカウントの作成に伴い、LINEの使い方講座を開催した。 (年6回延べ33名参加) ・ くぬぎ山コミュニティセンター玄関脇と北初富(山崎理容室)に脳トレプリント(5種類)を設置した。(2週間に一度プリントを入替え)

在宅福祉	オレンジ交友会 (認知症予防の会)	・申し込み制とし参加人数を制限しながら、脳トレ、ゲームなどを実施した。 (年6回延べ88名参加)
	高齢者支援教室	・栄養士による栄養指導、歯科衛生士による口腔ケア指導を実施した。 ・「お家で受けられる医療について」講演を開催した。 (年2回延べ52名参加)
在宅福祉	ラジオ体操	・くぬぎ山公園を利用し、毎月第4金曜にラジオ体操を実施した。 (全11回延べ255名参加)
	在宅介護者のつどい	・介護をしている方の悩みごとの話し合い。 ・アロマでリフレッシュを開催した。 (年2回延べ36名参加)
ボランティア育成	体操講習会	・中島一郎先生による体操講習会を実施した。 (年3回延べ58名参加)
	バス研修	※新型コロナウイルス感染症対策のため中止
	講演会	・西部小学校・PTAと共催で「命の授業」を開催した。(193名参加)
	わかば (健康作りの会)	・会員を対象として、浅沼美那子先生による体操教室を開催した。(年4回延べ87名参加)
その他	地域交流会	※新型コロナウイルス感染症対策のため中止

○南部地区社会福祉協議会

	事業名	内 容
広報啓発	なんぶだより 57号発行	・ 6,000部制作。自治会に依頼して各戸配布。
在宅福祉	介護予防教室	・ 介護予防を目的として、年1回実施。 (22名参加) ※年2回の実施を計画し、新型コロナウイルス感染症対策のため中止。
	体操教室	・ 運動機会の確保として、年3回実施。 (延べ129名参加) ※年4回の実施を計画し、うち1回は新型コロナウイルス感染症対策のため中止。
	ウォーキング	・ 5月と11月の2回実施。南部地域の中沢方面と貝柄山公園のコースを散策。 (延べ49名参加)
	高齢者バスハイキング	・ 一人暮らしの高齢者が対象のバスハイキングを計画していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止。
	子育て支援 「親子セミナー」	・ 未就学児の親子を対象とした事業。 「レゴを使ったコミュニティー術」「親子リトミック」「わらべうた」等の内容で3回実施。 南部公民館、南児童センター、地区社協との3者共催事業。 (延べ20組の参加)

	秋のおたのしみ会	・地域住民を対象とて、移動交番による紙芝居やマンドリンの演奏会を実施。（63名参加）
事業	（災害時支援部会） 防災倉庫点検	・6月に防災備品の使用確認等を実施。（19名参加）
	（地域交流部会） 南部ふれあいの集い	・地区ふれあい員、民生委員、孫の手ボランティア援護グループ、老人会、談話室推進委員、南部地区社協の運営委員を対象とした事業。講師に精神科医を招き「高齢者うつのメカニズム」について学んだ。（68名参加）
	道野辺保育園交流	・手作りのクリスマスカードとお手玉を園児に贈った。（9名参加）
	南児童センター交流	・「ありんこ春まつり」への協力依頼がなかったため実績なし。
	南部芸能交流大会	・老人会を対象とした交流会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止。
	南部いきいきサロン	・手作り品をつくりながら交流できる場として4回実施。（延べ105名参加） ※年5回の開催を計画し、うち1回は新型コロナウイルス感染症対策のため中止。
	脳トレプリント配布	・脳トレプリントを設置し配布を行った。個人以外にも、談話室等の活動で活用された。
	公民館まつりに参加	※新型コロナウイルス感染症対策のため公民館が中止を決定。
	グラウンド・ゴルフ大会	・第四中学校の校庭で開催。グラウンドゴルフをとおして交流を図った。（68名参加）

	(なんぶ孫の手会部会)	・地域ボランティア活動。(ゴミ出し：226回)
	孫の手バス研修	・バスを利用して、孫の手ボランティアと運営委員の研修を計画していたが、新型コロナウイルス感染症対策のためバスでの研修は行わず、千葉地方法務局による「エンディングノートと遺言書の書き方」についての研修会を行った。 (29名参加)
	こども発達センター「のびのびルーム」交流	※運動会、懇談会、クリスマス会、卒園式等に出席していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、全て中止となった。

○北部地区社会福祉協議会

	事業名	内 容
広報	地区社協広報紙	・行事報告と情報提供 ・No. 59、No. 60 各3,000部発行
ふれあい交流	サロン事業 (サロンほ・く・ぶ) おせんべい焼き	・北部地域住民を対象に閉じこもり防止、異世代交流等で気軽に立ち寄れる憩いの場の提供。 工作や折り紙など、10回開催した。 (延べ66名参加) ・栗野コミュニティセンターにて、地域の子供達、父母、ふれあい交流委員との交流等 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止
在宅福祉	介護予防教室 友愛訪問	・介護予防教室を3回開催。軽体操・大正琴演奏・ハーモニカ演奏など実施した。 (延べ79名参加) ・ひとり暮らしの高齢者と高齢者世帯に、委員が安否確認の手紙を作成し、タオルと啓発グッズをポスティングした。 (485世帯)

健康推進	健康体操	・ 地域の方を対象に、健康づくりを目的とし、健康運動指導士による軽体操 10 回開催した。 (延べ 180 名参加)
	ピラティス	・ 地域の方を対象に、リフレッシュを目的とし、ピラティスを 2 回開催した。(延べ 30 名参加)
その他	福祉健康フェア	・ 地区社協の広報紙掲示 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止
	北部ふれあいまつり	・ 地域住民との交流と情報交換 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止

(2) 生活支援体制整備事業＜重点目標＞

○第 1 層協議体活動

書面会議に出席（協議期間 9 月 5 日～9 月 22 日）

○第 2 層協議体活動

地域包括ケアシステムの一部である生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター設置業務委託事業＜実施主体：鎌ヶ谷市＞）への取組として、6 コミュニティエリアに配置した生活支援コーディネーターを中心に、それぞれの協議体では地域の実情に合わせた話し合いと実践を重ねた。

協議体名称	会議開催数	取組数	実施内容
中央地区第 2 層協議体	8 回	1 回	「地域のつながりの強化」、「高齢者の虚弱化への対応」に貢献するために、2 月 21 日に第 1 回目の「リアル野球盤ゲーム」を開催し、22 名の参加があった。
中央東地区第 2 層協議体	7 回	1 回	10 月 27 日第 1 回健康チェックデーを開催。東武鎌ヶ谷自治会を中心に、初富保健病院の協力のもと、骨密度や握力、足指力など合計 8 項目の健康チェックを実施した(参加者 64 名)。また、保健師や地域包括支援センターの職員による相談会も同時に開催し、24 名の相談に対応することができた。

東部おたがいさまの会	6回	4回	東部地区協議体を「東部おたがいさまの会」、小規模談話室を「クローバー」と名付け活動を開始。クローバー運営の具体的な検討のもと、試験的な開催を鎌ヶ谷コミュニティセンターで行い、その後本格的に東部学習センターで開催した。今後も課題等を抽出しつつ、地区内に複数のクローバー設置を目指す。(第1回～第4回まで45名参加)
西部地区第2層協議体	7回		「声かけ隊」は行き会う人に声をかけ、地域の見守りや安否確認の活動を延べ75回実施した。令和5年に入り、新たに「声かけ隊」を結成し、活動を開始した自治会があり、地域に浸透しはじめた。 昨年度より、休憩の出来るベンチの設置要望に応え、くぬぎ山地区に2カ所、北初富地区に1カ所ベンチを設置した。 また、「声かけ隊」の活動内容、「声かけベンチ」の設置について自治会を通してチラシの配布等を行い、啓発に努めた。
南部ささえあい協議体	5回	2回	南部公民館に来ることのできない方にも参加の場を作るため、出張講座を開催。また、ちょっとした生活課題に対応する仕組みである南部地区社協の「孫の手会」の拡充のため議論を重ねた。 5月24日、北中沢コミュニティセンターにて「楽しい漢字のお話」を開催(19名参加) 11月2日、南部公民館「肖像写真撮影会」を開催(6名参加)
たすけあい活動あさか(北部)	5回	3回	7月15日には寸劇を観ながら楽しく認知症を学ぶ「明るく楽しく学びませんか」寸劇とおしゃべり(36名参加)、11月10日にはAED心肺蘇生法を学ぶ「命をまもる」救命講習(27名参加)、3月13日には詐欺被害防止のための「コントでげき隊」すん劇とおしゃべり(36名参加)を開催した。各回とも参加者同士の交流の時間としてお話し会を設けた。

○全体研修として、1月18日に新鎌ヶ谷Fタワーにて「6地区協議体における生活支援体制整備事業の事例発表」を開催した。

講師：菱沼 幹男 氏（日本社会事業大学 准教授）

3 ボランティアセンター事業

市内のボランティア活動の拠点として、ボランティアにかかわる相談、連絡、調整、育成のための各種講座、市民を対象にしたボランティア体験、福祉をテーマとした講座等、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、可能な限り参集形式で実施した。

また、災害ボランティアセンター立ち上げ訓練については、感染拡大防止の観点から、対象者を限定し講義形式による訓練（10月29日：参集33名、オンライン6名、合計39名参加）を実施した。

①相談・活動状況

相談件数	2, 962件
斡旋件数	371件

②登録状況

ボランティア団体（33団体）	931名	全社協ボランティア保険加入者（2名）
個人ボランティア	159名	
合 計	1,090名	

③事業の内容等

事業名	開催日等	参加者
ボランティア入門講座	1月25日 ボランティア団体紹介・体験	4名
市民ボランティア体験	4月1日～6月30日（千羽鶴つなげるボランティア）	195名
	7月7日～7月22日 市民ボランティア体験(前期)	14名
	2月1日～2月26日 市民ボランティア体験(前期)	11名
	12月22日～3月31日 自宅で編み物ボランティア	76名

夏休み福祉体験(6コース)	7月28日～8月19日 5団体で体験活動実施	29名
災害ボランティア養成講座	①9月30日・②10月6日 ス マホを活かしてイカしたシニアに	①12名 ②9名

④福祉講座等協力

事業名(依頼先等)	開催日	参加者
防災についての話と実技 (中央地区社協)	7月9日	56名
ボッチャ体験講座 (身体障がい者福祉センター)	①11月15日 ②11月29日 ③11月30日	84名
福祉体験(西部小学校5年)	11月25日	78名

⑤講師派遣等

事業名(依頼先等)	開催日	参加者
子育てサポーター養成講座 (こども支援課)	5月24日	10名
かまがや健幸サポーター講座 (高齢者支援課)	①9月22日 ②12月15日	①10名 ②5名
認知症サポーターレベルアップ講座 (高齢者支援課)	9月26日	18名
新規保健推進員研修会 (健康増進課)	1月23日	8名

⑥他機関との情報交換

事業名(参加者等)	開催日	参加者
東葛地区ボランティアコーディネーター交流会(近隣9市)	11月18日	21名

⑦福祉用具等の貸出

備品名	貸出件数	貸出先
車いす	25	福祉施設・個人・小学校・医療機関・図書館

高齢者疑似体験セット	9	企業・福祉施設・小中学校
ボッチャゲームセット	26	小学校・福祉施設・団体・地域・企業
綿アメ機	1	福祉施設

4 在宅福祉サービス事業

(1) ふれあいサービス

高齢者や障がいのある方、子育て世帯（産前産後）の方、家事にお困りの方が「利用会員」となり、地域の中から参加した「協力会員」が家事支援・介助などのサービスを有料で提供する会員制の相互扶助（たすけあい活動）の福祉サービスを実施した。昨年に引き続き感染症対策に配慮しながら、会員相互の安心・安全対策を講じ、可能な範囲で会員の自立に向けた支援を推進した。

○活動状況

協力会員	登録者人数	21名
	活動人数	18名
利用会員	登録者人数	33名
	・安心登録人数	9名
	・休止・中止人数	4名
	・利用人数	20名
延べ活動利用回数		236回
延べ活動利用時間数		253時間

○協力会員の研修会

内 容	開催日
協力会員登録更新・新規会員登録説明会 2部制（午前・午後）「事業概要説明」「コロナ禍での活動について」	4月7日
「アロマオイルセルフケアトリートメント」「心と身体を癒すアロマセラピー・介護ケアと認知症予防」 「協力会員活動実例・質疑応答」	6月20日
調理に関する研修会「食中毒などの食品衛生上の注意」「手洗いチェック」「栄養バランスチェックシー	7月13日

ト」レシピ解説「バランスの良い食事、夏に食べやすい食事」	
講義「近年の子育て事情と産後うつについて」 「抱っこ紐・沐浴・離乳食の体験」	10月5日
講義「産後回復期の栄養摂取について」 レシピ解説 「食材使い切りメニュー」 グループワーク「栄養バランスチェックシート」「食材使い切り（キャベツ）」	11月8日
講義「高齢者の孤立とうつ～高齢者の心と身体の健康を守ろう～」 脳トレ「脳健体操」	2月6日

延べ67名参加

(2) 在宅介護者のつどい

在宅で身体の障がいや認知症等により、要介護状態にある家族等を介護している方を対象に、日頃の介護疲れを癒すことを目的に、介護者同士の情報交換の場や高齢者支援課の協力により健康チェックを行った。昨年に引き続き感染症対策に配慮しながら開催した。開催中止の際は、「地区社協事業・心の相談事業案内」や「熱中症対策」等の情報提供を行った。

○事業の内容等

内 容	開催日
体操「チェアヨガ」「介護体験等意見交換」	4月20日
手工芸「折り紙で作る花飾り」「介護体験等意見交換」	5月19日
レクリエーション「ボッチャ体験」「介護体験等意見交換」	6月24日
手工芸「貝がらでつくるインテリア小物」「介護のことから近況報告までおしゃべりしましょう」	7月19日
「地区社協事業・心の相談事業案内」「熱中症対策」のチラシ等送付（※新型コロナウイルス感染症対策のため参集型の事業は中止し、資料の送付を行う）	8月
レクリエーション「バグー」「日頃の思いを気軽に話そう」	9月12日
手工芸「折り紙で作るお人形」「みんなで介護のことを話そう」	10月26日
健康講話「お口のケアで健康づくり～食事美味しくスマイルアップ～」	11月21日

クリスマスミニコンサート「ウクレレ演奏とお話」	12月16日
新年交流会「昔遊び・ビンゴゲーム～笑う門には福来る。楽しく新年をスタートしよう」	1月17日
体操「健幸体操と脳トレ～いつまでも元気な体でいよう～」 「介護体験等意見交換」	2月16日
健康講話「フレイル予防について～筋力を落とさない食事・レシピ～」	3月9日

延べ49名参加

○地区別「在宅介護者のつどい」について

- ・7月29日に西部地区社協にて開催。参加者7名の近況報告等の情報交換を行った。
- ・10月28日に西部地区にて第2回を開催。参加者は12名。講師説明を受けながらアロマトリートメント作りとオールインワンジェル作りを行った。

5 相談事業＜重点事業＞

※新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年度より電話相談のみ対応。

(1) 心配ごと相談（毎週水曜日 10:00～14:00）

開催日数は48日であり、民生委員児童委員10名、学識経験者4名で相談にあたった。また、令和2年度より感染症対策のため相談員2名体制から1名体制に減員して対応した。

(2) 心の相談（毎週月曜日、金曜日 10:00～14:00）

開催日数は96日であり、相談員3名で相談にあたった。

○相談内容・延べ件数

	相談内容	心配ごと相談		心の相談	
		来談	電話	来談	電話
1	生計問題	0	2	0	0
2	年金問題	0	1	0	0
3	職業・産業問題	0	4	0	0
4	住宅問題	0	4	0	4
5	家族問題	0	14	0	95
6	結婚問題	0	0	0	0
7	離婚問題	0	3	0	0
8	健康・衛生問題	0	1	0	0

9	医療問題	0	0	0	0
10	精神衛生問題	0	1	0	0
11	人権・法律問題	0	0	0	0
12	財産問題	0	0	0	1
13	事故問題	0	0	0	0
14	児童福祉・母子保健問題	0	0	0	0
15	教育・青少年問題	0	1	0	0
16	心身障がい者（児）福祉問題	0	0	0	0
17	母子・父子福祉問題	0	0	0	0
18	老人福祉問題	0	1	0	0
19	苦情問題	0	1	0	0
20	その他	0	7	0	1
	合計	0	4 0	0	1 0 1
	総合計	4 0		1 0 1	

6 資金貸付事業

◎総貸付相談件数 186件（延べ件数1, 106件）

（1）福祉資金（鎌ヶ谷市社協独自の貸付）

○低所得世帯で一時的に生活等が困難な世帯への貸付。

・貸付決定額 0円

○年度末貸付額 150,700円

（2）生活福祉資金等（受託事業〈実施主体：（福）千葉県社会福祉協議会〉）

○低所得世帯、身体障害者世帯等の自立支援、生活の安定を図るための貸付。

・貸付申請（決定）額 7,501,800円（25件）（コロナ特例貸付を除く）

資 金 種 類		貸付決定額	件 数
福祉資金	福祉費（保護世帯必需品）	224,000	3
福祉資金	福祉費（葬祭費）	500,000	1
福祉資金	教育支援費（移管2件含む）	5,473,900	7
福祉資金	緊急小口資金	1,303,900	14

○新型コロナウイルス感染症特例貸付（令和４年９月終了）
（緊急小口資金、総合支援資金）

・貸付申請(決定)額 １２，０００，０００円（４８件）

資 金 種 類	貸付決定額	件 数
緊急小口特例貸付資金	７，０００，０００	３５
総合支援特例貸付資金	５，０００，０００	１３

○生活福祉資金等の貸付後の状況（コロナ特例貸付を除く）

- ・年度末償還中件数１１８件（総合５５、福祉資金（福祉費）１６、教育２７、緊急小口２５、生活復興支援資金１、離職者支援資金３）
- ・免除申請承認件数２
- ・令和４年４月～令和５年３月 償還率は９．５５％

（３）償還を促す指導等

- 「償還残高のお知らせ」等の送付(年４回)〈借受人、連帯借受人、連帯保証人、担当民生委員〉
- 督促状、請求書等の送付及び法的措置の依頼((福)千葉県社会福祉協議会及び本会より)
- 延滞世帯への確認等(３０件)

７ 地域福祉権利擁護事業（受託事業〈実施主体：(福)千葉県社会福祉協議会〉）

（１）日常生活自立支援事業

福祉サービスの利用手続きや、日常生活における金銭管理等を行うことが難しい状況にある高齢者や障がい者等の生活を安定させるための相談受付及び契約業務を次のように取り扱った。また、地区社協や民生委員児童委員、介護事業所や地域包括支援センター、福祉行政機関等に対して、事業の啓発活動を行った。

①相談・訪問調査等

区 分	新規相談受付人数	契約者相談・訪問調査延べ回数
高齢者	１４	１２７
精神障がい者	２	７５
上記以外	１	２９
合 計	１７	２３１

②利用契約件数

区 分	件 数
高齢者	5
精神障がい者	5
その他	1
合 計	11

＊内、新規契約3件、解約3件

③生活支援員状況

区 分	人 数
登録者人数	5
活動人数	5
合 計	10

④生活支援員養成研修会（オンライン）

千葉県後見支援センター主催の研修会に生活支援員5名参加。

基調講演「日常生活自立支援事業における意思決定支援について」

実践発表「意思決定支援について」

情報交換

⑤関係機関連絡会

市内関係機関連絡会を令和5年3月6日に総合福祉保健センターを会場に開催した。内容としては、保健福祉部及び基幹相談センターにおける権利擁護に関する取組についての発表、意見交換を行った。

（2）成年後見制度の啓発事業

①成年後見制度・遺言相続個別相談会

将来に備え、成年後見制度の利用及び遺言相続について司法書士の協力を得て、6地区社協との共催にて相談会を開催した。（市内7か所・26件）

期 日	会 場	相談件数	相談内容
11月4日	くぬぎ山コミュニティセンター保育室	2	①遺言について ②成年後見について
11月10日	きらり鎌ヶ谷中央公民館 学習室4	4	①生前贈与、遺言について ②相続について

11月16日	北部公民館視聴覚室	1	①生前贈与、遺言について ②成年後見について
11月18日	南部公民館学習室2	3	①生前贈与、遺言について ②成年後見について
11月22日	総合福祉保健センター団体活動室	4	①生前贈与、遺言について ②成年後見について
11月29日	東部学習センター学習室2	4	①生前贈与、遺言について ②成年後見について
11月30日	東初富公民館集会室	4	①生前贈与、遺言について ②成年後見について
12月15日	総合福祉保健センター相談室	4	①生前贈与、遺言について ②成年後見について

8 善意銀行

○寄付金総額 1,617,403円（38件）

①金銭の払出し (円)

払出先	金額	備考
ボランティア・福祉団体等	103,214	目的別寄付
要援助者支援	50,000	災害見舞金
その他	595,821	地区社協活動助成金、防災訓練に関するPRグッズ配布
合 計	749,035	

○寄付物品（1件）

②物品の払出し

払出先	物品名	備考
福祉施設等	タオル	100枚

9 受託事業（実施主体：鎌ケ谷市）

（1）福祉作業所友和園（指定管理者制度）＜重点目標＞

法定事業所（就労継続支援B型と生活介護）の多機能型事業所として、心身に障がいがあるため就職困難な方に対し、社会生活における適応性を高める指

導を感染予防対策を講じながら行った。所員の定員は就労継続支援B型16名(定員20名)、生活介護9名(定員10名)であった。

生活指導の面では、社会自立、身辺自立に必要な基本的生活習慣が身に付くように、月例行事など様々な機会をとおして、具体的な指導を行った。

特に就労継続支援においては、知識、技能及び就労態度を養うための指導を行い、作業指導の面では、コンタクトレンズ用品の袋入れ、タオル袋入れ、かぶの袋入れ、釣り具研磨作業等の簡易作業や地域新聞の配達、公園の清掃、花壇の手入れ、梨の枝の片づけ、アルミ缶・ペットボトルキャップ回収の作業を行った。

また、自主生産として、手芸品、紙すき製品などを作り販売した。その中で、千葉日報社より「NTT児童画コンクール参加賞」として紙すきのメモ帳3,530冊の注文を受け製作にあたった。工賃収入として、2,512,290円であった。

その他、作業所の円滑な運営を図るため、保護者会を2回、個別支援計画の確認のため、個別面談を2回実施した。さらに、広報「ゆうわ」を4回発行し施設内外の情報提供に努めた。

(2) 地域福祉センター（指定管理者制度）

地域福祉活動の拠点となる、総合福祉保健センター内の地域福祉センター(団体活動室〈年間利用373回〉、調理室等)の貸出し業務を行った。

※大会議室については、昨年度より新型コロナワクチン接種会場として使用されている。

10 共同募金運動

(1) 赤い羽根募金（10月～12月実施） (円)

区 分	募金団体等	募金額
戸別募金	41 自治会	4,538,629
学校募金	市内小、中学校、高等学校	184,392
法人募金	商店、会社等212件	709,008
その他募金	職域、個人、団体等	199,395
合 計		5,631,424

※ 赤い羽根募金は全額、千葉県共同募金会に送金し、翌年度の事業費として約70%の配分を受ける。

(2) 歳末たすけあい募金(12月実施)

○収入

(円)

区 分	募金団体等	募金額
戸別募金	40自治会	2,829,634
その他募金	法人、個人、団体等	216,000
合 計		3,045,634

○配分

(円)

事業名	内容	金 額
生活困窮者見舞金支給事業	要援護世帯へ見舞金支給	936,000
緊急的生活支援事業	困窮世帯への食料等支援・要援助者へ卓上カレンダー配布	397,680
福祉ニーズへの支援事業	社協啓発活動・こどもの学習支援	398,655
災害関連事業	災害ボランティアセンター用品等の整備	58,109
社会福祉施設助成金事業	高齢者・障害者・児童福祉施設・小規模作業所へ助成	720,000
福祉関係団体助成金事業	当事者団体、こども食堂等等へ助成	160,000
地域・在宅福祉事業	障がい者福祉イベント・在宅福祉活動等	526,886
合 計		3,197,330

(3) 義援金の受付・送金

- ・ 1名の方から計20,000円の義援金を預かり送金した。

(4) 災害見舞金の支給

- ・ 7件の災害見舞金として計50,000円を支給した。

令和4年度 事業報告の附属明細書

令和4年度事業報告には、社会福祉法第45条の27第2項に規定する附属明細書については、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和5年5月

社会福祉法人 鎌ヶ谷市社会福祉協議会